（別紙）

生物（2 月 5 日実施）

1. 対象の学部
   薬学部（薬学科）
2. 入試方法区分、試験科目
   令和 4 年度一般選抜前期日程 生物（2 月 5 日実施）
3. ミスの内容
   問題文で計算結果とは関係しない単位での解答を指示したため、正答できない設問となった。

問 5　下線部(c)に関して，腎機能の検査のため，健康なヒトにイヌリンを静脈から注射した。イヌリンは，ヒトの体内では代謝されない植物由来の多糖類で，原尿から再吸収されず，すべてが尿として排出される。注射後に原尿および尿に含まれるイヌリンとクレアチニンの濃度を測定し，その結果を**表 1** に示した。**表 1** から，最終的に 1 mL の尿となった原尿の量は何 mL だったと考えられるか，またクレアチニンの再吸収率は質量パーセント濃度で何%と考えられるか。原尿の量を**解答欄 I** に，クレアチニンの再吸収率を**解答欄 II** に答えよ。ただし，原尿および尿の密度はすべて 1 g/mL とし，解答の数値は小数点以下 2 桁目を四捨五入せよ。

表 1

成　分	原尿(%)	尿(%)
イヌリン	0.01	1.2
クレアチニン	0.001	0.075

「質量パーセント濃度をもとに計算すると何%と考えられるか」であるべきところが、
「質量パーセント濃度で何%と考えられるか」となっている。

4. 対応
   当該問題については全員正解として扱う。
5. 追加合格の有無
   無し